



日本プライマリ・ケア連合学会
関東甲信越ブロック支部 活動報告

発行人: 梶井 英治

事務局 〒329-0434

栃木県下野市薬師寺 3311-1

自治医科大学地域医療学センター内

Tel. 0285-58-7394 Fax. 0285-44-0628

E-mail pckk@jichi.ac.jp

ニュースレター No. 5 (2014. 3)

2014年3月で、関東甲信越ブロック支部が現在の体制になってちょうど2年になります。この2年で、かなり関東甲信越ブロック支部は変わりました。今回はこの2年を振り返ってみて、その変化を整理してみたいと思います。

1) 第1回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越地方会 (2012年12月2日)

日本プライマリ・ケア連合学会が発足して3年目の2012年。新しい体制でスタートした日本プライマリ・ケア連合学会はブロック支部の活性化も目標の一つに掲げていました。それを受け日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロックでも様々な取組を始めました。第1回となる日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越地方会に先立ち、各都県の活動についての調査を行ったところ、活動の程度のみならず、会員数、日本プライマリ・ケア連合学会との関連、医師以外の職種からの参加の有無、規約の有無、会費の有無などの組織や体制についても都県によってとても差が大きいことが分かりました。それらの結果を受け、第1回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越地方会では、今後の日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部の方向性を考える分科会『新しい関東甲信越ブロック支部づくり』を行う方針となりました。

日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越地方会は2012年12月2日、東京都医師会館を会場として家庭医療研修プログラム関東レジデントフォーラムとの共催で行われました。日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越地方会では『新しい関東甲信越ブロック支部づくり』を共通テーマとした意見交換が4つの分科会で行われました。それぞれの分科会では「関東甲信越ブロック支部の組織について」、「関東甲信越ブロック支部の活動について」、「多職種が参加するブロック支部づくりについて」、「都県支部の組織・活動について」をテーマとしました。結果、各都県の歴史的背景や、現在のメンバーを最大限に尊重しつつ、うまく日本プライマリ・ケア連合学会からの資金的援助を活用できる仕組みを作り、日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部の活動を活性化させようという方向性が確認されました。

2) 日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部理事・代議員会 (2013年2月24日)

第1回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越地方会での議論を受けて、本格的に日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部の組織づくりを行うために、2013年2月24日、東京都医師会館を会場として理事・代議員会が開催されました。日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部理事・代議員会では、事務局が作成した素案を基に日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部の規約・組織・活動について、細部に至る議論が行われました。結果、「関東甲信越ブロックのプライマリ・ケアの充実・発展を通して地域社会に貢献する」という目的と、「コメディカルとの連携や学生・研修医等の育成に関わる事業も重視する」という活動方針が確認され、組織としては、執行部は設けず、「議員総会(代議員・理事・監事の会)」の議論・決定を重視することやブロック支部の都県支部(日本プライマリ・ケア連合学会の会員以外の参加を許容し現在のメンバーのまま運営できるようにした)を設けること等が定められました。また、活動の根拠となる予算についても、その運用の流れが検討・決定され、さらに2012年度分から支給できることも決定されました。これらにより、各都県のこれまでの活動と齟齬なく、新たに日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部が組織的な活動を行う準備が整ったと言えると思います。

3) 第1回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部議員総会 (2013年5月19日)

2013年5月19日、仙台で行われた日本プライマリ・ケア連合学会学術集会に合わせて第1回の議員総会が開催されました。この場で先の理事・代議員会での議論を踏まえて修正された関東甲信越ブロック支部の規約が正式に承認されました。また地方会は、日本プライマリ・ケア連合学会学術集会とは別日程で開催することになっていましたが、2013年度は東京都支部が幹事となって開催することとなり、その日程が案内されました。また、本格的な予算運用も開始されました。しかし、都県支部からの申請によって執行可能となる追加予算を申請した都県支部はありませんでした。

4) 第2回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越地方会および

第2回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部議員総会 (2013年12月8日)

2013年12月8日、東京医科歯科大学M&Dタワー及び3号館において、第2回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック地方会が開催されました。東京都支部が幹事となり、「つなぐ」を基本テーマとし、ベテランと若手、病院と診療所、多職種間の連携などを考えることを目的に開催されました。当日は晴天に恵まれ多くの参加者が来場しました。

同日同会場で第2回日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部議員総会も開催されました。議事の内容は都県支部活動の活性化と予算運用についてと、今後の地方会運営についてでした。都県支部から活動の報告をしていただきましたが、2012年の活動開始時と比較すると、まだ何も組織化されていなかった都県に組織が出来ていたり、もともと活動を行っていた都県ではそれがより体系立ってきたりと、いずれの都県支部でも活動が進捗している様子がうかがえました。一方、予算の運用については活用している都県が少ないことが事務局から報告されました。今後都県支部の組織化・活動の活性化に伴い、予算の活用が進むことが期待されました。

最後に今後の地方会の在り方については、細部に至る議論が行われました。特に幹事と開催地の決め方については相対する意見が出され、議論は収束しませんでした。来年度の地方会の幹事は神奈川県支部が担当することがすでに決まっていますが、その後の幹事・開催地は決まっておりません。これらは都県支部の活性化と並び、来期以降の日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部議員総会の重要な課題かと思われます。

=関東甲信越ブロック支部からのご連絡=

ニュースレターでは関東甲信越ブロックの各都県支部の活動を広くお伝えしたいと考えています。各都県支部の研究会等の活動の告知や報告にご利用下さい。掲載を希望される方は、名称、日時、会場、内容、連絡先等を事務局までメール (pckk@jichi.ac.jp) でご連絡下さい。学会及び支部の精神に則り、会員に役立つ会合の情報提供をよろしくお願いたします。皆様からのご意見やご提案をお待ちしております！